

組合取り組み事例紹介



令和3年度取引力強化推進事業実施組合より 「ホームページとSNSを活用した各店舗の魅力発信と組合の宣伝事業」

実施組合 松阪市愛宕町商店街振興組合

事業概要 組合のホームページとSNSであるInstagramを開き、情報発信を行うことにより、愛宕町商店街の魅力ある店舗の宣伝を行い、地元の若者や松阪市以外の外部からの来街者を増加させ、事業の活性化を図りました。

具体的には、ホームページ作成として、トップページと組合の概要、愛宕町商店街マップを作成して公開することにより、組合の存在や愛宕町の各店舗の名称等を広く宣伝し、さらにSNS (Instagram) を開設して日々の各店舗からの情報提供を積極的に行うことにより、低コストでの組合員からの情報発信につなげました。

成果等 組合員においては、組合員の店舗の宣伝活動を組合のSNS (Instagram) で実施することにより、組合員店舗の魅力を発信することができ、組合活動への参加意欲が増加し、組合への協力体制を構築することができました。今後も、組合を通じて組合員の各店舗を紹介することにより、組合員の信用性が増加し、店舗への集客効果と売上増加に期待しています。

組合においても、新たな事業活動として、ホームページによる組合の宣伝とSNSを通じた組合員の店舗の情報発信を行うことができ、組合の存続価値を高めることができました。今後も、組合からの情報発信の手段としてSNS (Instagram) での宣伝活動が重要になり、そのためには、組合のイベント実施についても検討し、組合員の積極的な協力要請と事業への参加に期待しています。



HP



Instagram

松阪市愛宕町商店街振興組合
TEL:0598-23-0617

全国の先進組合を紹介しします



企業組合花真珠（愛媛県）

● 地元の真珠粉を使用した化粧品を開発し、販路を拡大

■ 背景・目的

真珠の国内生産量4割を占める愛媛県の中でも、宇和島市はその主産地になります。真珠をテーマとした商品や観光メニュー開発で、交流人口の拡大、産業の活性化、雇用の創出を実現しようとしていました。そこで、女性の地域おこしグループ「まちづくりBeppin塾」の美容関係者が中心となり、規格外真珠や真珠を育てる際に産業廃棄物として出るアコヤ貝の真珠層を粉にした“パールパウダー”を活用した、化粧品及びエステメニュー開発を真珠養殖事業者とともに行いました。

■ 取組みの手法と内容

当初活用した「地方の元気再生事業～宇和島圏域活性化トライプログラム推進事業」で試作品としてパールパウダー入り石鹸を1,000個製造。1,000人にモニターアンケートを実施したところ80%の方から「良い」との回答を得たため、企画・販売のための法人「企業組合‘Women’s Nest」を設立（7年後に企業組合花真珠に名称変更）し、本格的に製造（OEM）・販売に取り組んでいくこととなりました。

女性に化粧品を変えてもらうのはハードルが高いため、組合員が経営する店舗でエステ体験をしてもらう地道な取り組みを行いながら、パールエステティシヤンの養成も行いました。現在は宇和島市内のほか、県内各地にエステの実



〒798-0022 愛媛県宇和島市
伊吹町甲946番地2
URL: <https://www.hanashinju.jp/>

施店舗が拡大しています。また、中央会を始め各支援機関の事業を活用し、各種イベントや展示会に積極的に参加したことで認知度も上がっており、現在では宇和島を代表するご当地お土産・エステとして各所で紹介してもらえるようになりました。

製造コストを下げる工夫（容器に印刷からラベル印刷に変更）も実施しており、令和2年には組合等課題対応事業取引力強化推進事業を活用しパッケージや

リーフレットをリニューアルするとともに、コロナ禍の自宅で利用しやすい低価格帯ラインナップも販売しています。

■ 成果とその要因

事業開始当初、設立資金をすべて商品開発につぎ込んだため、運営資金が無くスタッフはボランティア状態でした。資金面ではいつも課題がありましたが、現在は経営者視点をもつことの重要性を説く代表理事の土居氏（真珠養殖事業者代表）が「手綱をもつ人」、他の女性組合員が「走る人」との位置づけが組合員間で意識共有できており、それぞれの特性が生かされています。知名度も上がり周囲からは「町おこしはもういいよ」と言われることが多くなりましたが、目標売上1,000万円/年への利益追求（組合設立10年目に達成に近づいたがコロナの影響で未達）も大事にしつつ「長く活動を続けていきたい」という想いが、事業の根底にあります。